

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	観光課長 森 啓匡	
市民-16	観光施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	公的不動産活用課・下水道河川課
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-②観光基盤の整備・充実

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の改修等や、公衆トイレの修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。また、観光客の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	観光案内板等整備事業	観光案内板等の改修等	-	/		2,385	
02	公衆トイレ維持管理事業	光熱水費、公衆トイレ電気・水道使用料負担金	-	/		6,717	
03	公衆トイレ等整備事業	公衆トイレ等維持修繕料、ハイキングコース等観光施設等整備事業	-	/		61,693	
04	ハイキングコース受入環境整備事業	ハイキングコースの安全対策、パトロール事業負担金	-	/		1,361	
05	観光WIFI設置補助事業	屋内用観光Wi-Fi接続設備設置にかかる補助	-	/		500	
06	観光WIFI維持管理事業	屋外型Wi-Fi接続設備等回線使用料、保守委託	-	/		1,867	
07	屋外ライブカメラ運用事業	七里ガ浜ライブカメラの設置	-	/		237	
08	一般事務経費		-	/		105	
09	海岸下水道管整備事業	設計業務の実施	-	/		190,635	
10			-	/			
		財源内訳	国県支出金	1,524 / 1,731		94,834	
			地方債	/		83,800	
			その他特定財源	/			
			一般財源	41,321 / 66,019		87,046	
			事業費の合計(千円)	42,845 / 67,750		265,680	
		人件費(千円)	/		7,596	3,897	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0	0.5		
会計年度任用職員	0	0	0	0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	観光案内板等整備事業	指標の設定なし 観光案内板の老朽化に伴う破損等による改修等のため。	観光客への目的地への道標であり、観光客の利便性を向上させ観光振興に寄与するものである。	効果的な案内板の設置や、老朽化している案内板の計画的な回収の実施
02	公衆トイレ維持管理事業	指標の設定なし 公衆トイレの維持管理に必要な光熱水費等であるため。	観光客の利便性を向上させるものである。	年々老朽化していく施設の維持管理費の高騰
03	公衆トイレ等整備事業	指標の設定なし 公衆トイレ等の故障の際に対応する修繕料等であるため。	観光客の利便性を向上させるものである。	公衆トイレの改修工事の費用の高騰、事業の集約化及び効率化
04	ハイキングコース受入環境整備事業	指標の設定なし ハイキングコースの維持管理を行っている費用であるため。	利用する観光客が多く、観光客の満足度を高めている施設の一つであり、観光振興に寄与するものである。	ハイキングコースを市としてどのように管理が最善であるかの検討
05	観光WiFi設置補助事業	指標の設定なし WiFi環境を整備するための補助金であるため。	観光客の利便性を向上させるものである。	WiFi自体の今後の存続も含め、観光客のニーズを図る必要がある。
06	観光WiFi維持管理事業	指標の設定なし WiFi環境を維持するための保守等の費用であるため。	観光客の利便性を向上させるものである。	WiFi自体の今後の存続も含め、観光客のニーズを図る必要がある。
07	屋外ライブカメラ運用事業	指標の設定なし ライブカメラの維持に係る費用であるため。	観光客の利便性を向上させるものである。	ライブカメラの今後のあり方の検討
08	一般事務経費	指標の設定なし 一般事務経費であるため。		
09	海岸下水道管整備事業	指標の設定なし 海岸の下水道の整備を行う事業であるため。	観光客の利便性を向上させるものである。	受益者負担、整備後の維持管理について整理する。
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	協働実施済の場合のパートナー 公益社団法人鎌倉風致保存会

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
海岸下水道ほか施設の整備計画、管理方法等を再検討し、効率的な施設整備及び管理を行っていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5				
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(令和3年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	6,565	13,357	5,616	589	4,208	23,431	11,995	13,500

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
--------------------------	---